

令和6年度

東祖谷小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 学習における基礎・基本を身につけ、自ら進んで学習に取り組む態度を育成する。
- 話し合い・学び合いを充実し、豊かな表現力を育成する。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

藤山 仁司

- 【総括】藤原 隆司 【総括補佐】大西 勇貴 【教務主任】青木 大将
- 【研修主任】武久 純也
- 【2年推進】武久 純也 【3・4年推進】藤山 仁司 【5年推進】住田 結花
- 【6年推進】青木 大将 【特支】大西 勇貴 【食育推進】垂水 香月

校長

藤原 隆司

【各校の取組状況の把握について】

本校で設定した成果指数を基に、取組状況を学期ごとに検証する。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|---|--|---------|----------|-------------|
| ○漢字・計算検定の実施により、達成度が明確となり意欲的に取り組むことができる。 ○漢字・計算など、基礎的、基本的な知識を身につけている。 ●「多読賞表彰」「読み聞かせ」「ビブリオバトル」等を取り入れることにより読書意欲の向上が見られたが、読書の習慣化には個人差がある。 | 読み・書き・計算の基礎的、基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。 音読や読書に進んで取り組み、本に触れる機会を習慣化し、語彙力を高めることができる。 | ○漢字・計算検定を行い、基礎的・基本的な知識および技能を習得させていく。 ○「いやっこ読書手帳」の継続活用、「多読賞表彰」、「ビブリオバトル」を行う。 | | | |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|---|--|---------|----------|-------------|
| ○自主勉強や授業中のノートを掲示しており、他の児童の良いところを手本として取り組むことができる。 ○相手の意見につなげて自分の意見を発言することができるようになってきている。 ●自分の考えや感想を書くことはできるが、目的や相手を意識した表現が苦手である。また、自分の言葉で文章に表すのが苦手な児童もいる。 | 学んだことを学年にふさわしい多様な表現方法を用いて、書いたり発表したりすることができる。 読み取ったことや考えたことを、根拠を明らかにしながら話したり、文章の構成を考えて書いたりすることができる。 | ○学年や個人の目標を持って自主勉強に取り組ませる。 ○すぐれた文章表現やアイデアにあふれた日記を教室や廊下に掲示し、語彙の習得を図る。 | | | |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|--|--|---------|----------|-------------|
| ○全校での話し合い活動の実施により「話す・聞く」態度が身につけている。また、自分の意見を進んで発言する態度が育ってきている。 ○タブレット端末を用いて分からないことを進んで調べることができる。 ●指示されたことはできるが、自ら課題を見つけ取り組む児童が少ない。 | 目的や条件に応じて、話したり書いたりして伝え合い、全体やグループでの話し合い・学び合いが活発にできる。 タブレット端末を活用し、自ら学ぶことができる。 身の回りや世の中の事象に興味を抱き、自分事として関わろうとする。 | ○全校で話し合い活動を行い、話し合いのスキルを高める(月に1回「いやっこ議会」・「いやっこ会」)。 ○学級指導を通してタブレット端末の様々な使い方を児童と共に考える。 ○教師が朝の会や帰りの会において児童が興味を抱く話題を提供する。 | | | |

令和6年度 学力向上ロードマップ

